

I 第39週の発生動向 (2011/9/26~2011/10/2)

- 手足口病については、東地方+青森市保健所、八戸保健所及び上十三保健所管内において第31週から、むつ保健所管内において、第32週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内及び弘前保健所管内において、第34週から**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において、**注意報**が発令されました。

II 第39週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ														0					
小児科 (74) RSウイルス感染症	4	0.4	4	0.4	2	0.2							10	0.2	-8	2	2.0	2	0.3
(75) 咽頭結膜熱														0					
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.2	5	0.6	4	0.4			2	0.3	1	0.3	14	0.3	7			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	18	2.0	3	0.3	1	0.1			3	0.5	8	2.0	33	0.8	3	9	9.0	9	1.1
(78) 水痘	4	0.4	8	0.9	1	0.1			10	1.7	6	1.5	29	0.7	-8			4	0.5
(79) 手足口病	38	4.2	20	2.2	42	4.7	11	2.2	41	6.8	46	11.5	198	4.7	-42			38	4.8
(80) 伝染性紅斑									1	0.2	2	0.5	3	0.1	-1				
(81) 突発性発しん	6	0.7	1	0.1	2	0.2	3	0.6	5	0.8	4	1.0	21	0.5	3	1	1.0	5	0.6
(82) 百日咳														0					
(83) ヘルパンギーナ	23	2.6	19	2.1			7	1.4	2	0.3	6	1.5	57	1.4	-30			23	2.9
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.2	1	0.1	26	2.9			31	5.2	1	0.3	61	1.5	30			2	0.3
眼科 (86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5	1	0.3									2	0.2	-4			1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.0	7	7.0					5	5.0	15	2.5	10				
(96) 無菌性髄膜炎							2	2.0					2	0.2	2				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：東地方1人、青森市4人、八戸2人、上十三1人、むつ1人(23年計:317人)

IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- 下気道炎患者3名(咽頭ぬぐい液、7/29~8/5)・・・RSウイルス：弘前(3)
- 熱性けいれん患者1名(鼻汁、8/6)・・・RSウイルス：弘前
- 無菌性髄膜炎患者2名(髄液、9/10、9/12)・・・エコーウイルス6型：五所川原(2)
- 手足口病患者1名(咽頭ぬぐい液、9/15)・・・コクサッキーウイルスA6型：五所川原
- ヘルパンギーナ患者1名(咽頭ぬぐい液、8/25)・・・コクサッキーウイルスA6型及びライノウイルス：弘前

# 感染症の窓

## リステリア症

リステリア症は、細菌のリステリア・モノサイトゲネス (*Listeria monocytogenes*) による感染症で、ヒトの他、種々の動物にも認められる人畜共通感染症です。

病型は、ヒトでは髄膜炎が最も多く(細菌性髄膜炎)、次いで敗血症、胎児敗血症性肉芽腫症、髄膜脳炎等です。動物では脳炎のほか敗血症、流産等です。

症状は、発熱、頭痛、嘔吐等で意識障害や痙攣を起こす場合もあります。健康な成人では無症状のまま経過することが多いですが、感染初期には倦怠感、弱い発熱を伴うインフルエンザ様の症状を示すことがあります。

リステリア菌は、自然界に広く分布し、様々な食品が汚染される危険性があり、特に乳、食肉等動物性食品で危険性が高くなっています。発育温度域が0~45℃と広く、最適発育温度は30~37℃ですが、5℃の低温でも発育増殖できます。また食塩耐性で10%食塩添加ブイヨン中でも発育できます。(IDWR「感染症の話」)

米国では、コロラド州の農場で生産されたメロンが感染源とみられるリステリア症患者の集団発生が確認され、2011年9月30日時点で15名の死亡が報告されています。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第20週～第38週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19		梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7					つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11						
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	麻しん1人					アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25						

VI 結核（二類全数把握疾患） 単位：人 2011年第20週～第38週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			7		3	2
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		1		4	1	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11	2	6	1	3	1	2
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			2			

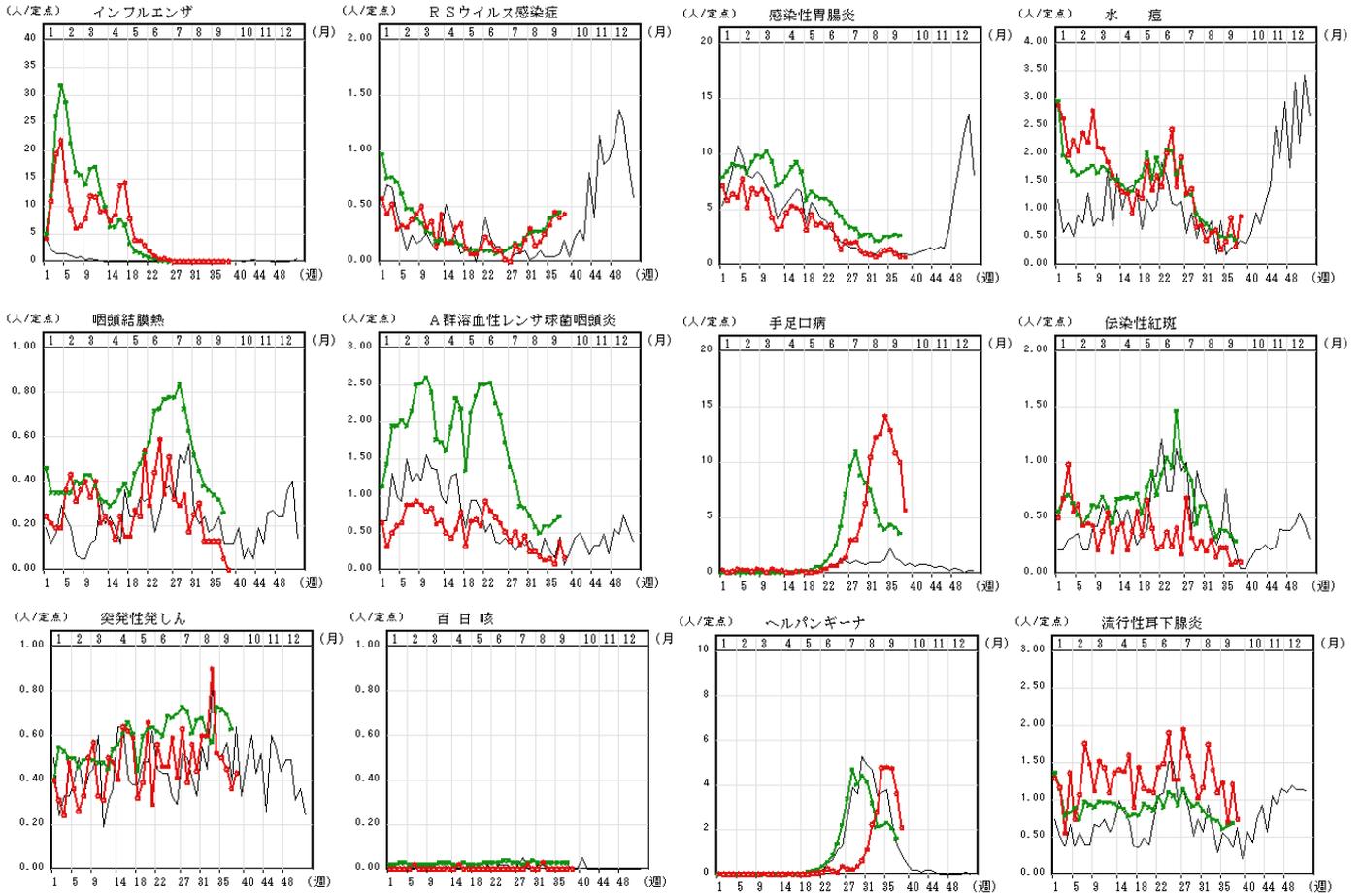
VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2011年10月3日16時30分集計速報値

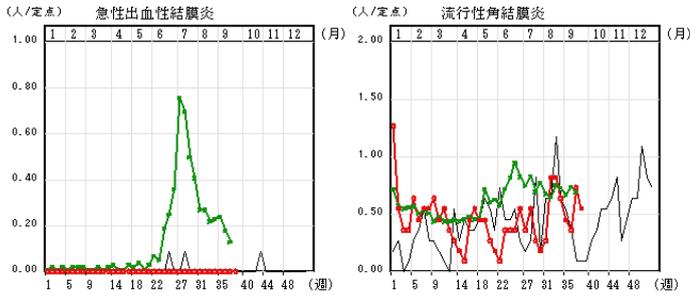
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポリオス症	マラリア	ライム病
全国	1	22287	8	217	3159	16	20	46	154	13	11	2	5	167	73	107	4	3	56	6
青森県	0	309	0	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん		
全国	2	561	15	597	185	200	7	96	158	1054	49	7	1	548	88	43	321	400		
青森県	0	2	0	2	0	2	0	1	2	4	0	0	0	5	2	1	0	1		

グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011 年第 38 週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 38 週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 38 週

